

ルポ

交流が広がる「地域の縁側」に

高専賃「ビスターレごせんごく」

5月、米子市福市に60歳以上であれば基本的に誰でも入居ができる高齢者専用賃貸住宅（高専賃）「ビスターレごせんごく」が誕生した。入居者は家具や荷物などを持ち込み、第二のわが家としてゆったりとした時を過ごしている。隣接する小規模多機能型居宅介護の職員が毎日、入居者の安否確認を行い、介護や健康、日常生活などについての相談に乗る。家族のように親身に接する職員たちが入居者の安心、安全を支えている。

居心地の良いすまみか

「わしや、ここが本宅ですわ」。妻の死をきっかけに住み替えを決め、開所当時から入居している85歳の男性は、にこやかに言い切った。部屋にはテレビやベッド、畳、アルバムなどこれまでの生活ぶりがかがえる家具や思い出の品がいっぱい。ビスターレの居心地の良さを物語るかのように、男性は、米子市内にある自宅を「別荘」と呼ぶ。要介

快適な部屋でアルバムを見ながら宮永さんと談笑する男性

先日の男性は、訪ねてきたビスターレとデイハウスの管理者、宮永和美さん（49）にアルバムを見せながら、家族の思い出話をした。宮永さんは「本当に人生経験豊富で、お話を聞くのが楽しみです」

隣接する小規模多機能型居宅介護「デイハウスごせんごく」には男性2人を含む20代から60代の計10人の職員がおり、ビスターレの入居者を温かく見守り支えている。1日に数回、職員が顔を出して声を掛け、優しい笑顔と穏やかな心で話し相手になる。

交流で生まれる安全、安心

「地域の縁側づくりを目指している」と語る宮永さん。人が集まるコミュニケーションの場であり、ホッと心を落ち着かせる場である縁側のような存在を目標に、ビスターレは入居者に寄り添いながらその歩みを進めている。

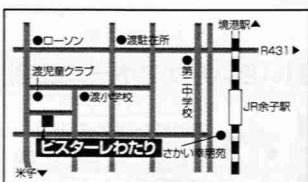


デイハウスの職員と通所者。家族のようなきずなで入居者に寄り添う

「飲みならんかね？」と入居者の80歳代の女性が声を掛ける。まるで家族のような自然体の関係が築かれている。デイハウスではゲームや近くの幼稚園との交流会などがあると、ビスターレの入居者を誘おうと通所者から声が上がるといふ。入居者は職員や通所者らとの日々の交流で楽しみが生まれ、刺激を受けている。

高齢者専用賃貸住宅 ○全室個室○共同設備完備

ビスターレ わたり



境港市 渡町

お問い合わせ・お申し込みは

小規模多機能型居宅介護
デイハウスわたり

☎0859-45-6510

〒684-0072 境港市渡町1422 (担当/安達)

高齢者専用賃貸住宅 ○全室個室○共同設備完備

ビスターレ ごせんごく



米子市 福市

お問い合わせ・お申し込みは

小規模多機能型居宅介護
デイハウスごせんごく

☎0859-26-6541

〒683-0011 米子市福市1728-1 (担当/宮永)

社会福祉法人 こうほうえん
Human Healthcare Group

〈法人本部〉〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1400 TEL.0859-24-3111 FAX.0859-24-3113